



中島根

平成30年7月20日

足立区立中島根小学校

校長 武井利依

平成30年度夏休み直前号

子夏曰わく、賢を賢として色に易え、父母に事えて能く其の力を竭くし、
君に事えて能く其の身を致し、朋友と交るに、言いて信有らば、
未まだ学ばずと曰うと雖も、吾れは必ず之れを学びたりと謂わん。

校長 武井利依

大阪府北部地震発生から32日、広域にわたる西日本豪雨災害から2週間を経た今、連日の猛暑に被災された方の健康を祈るばかりです。思い起こせば、昨年も九州北部の記録的な豪雨被害からの復興も未だ道半ばとの報道に接し、私達にできることは何か考えさせられます。

本校の代表委員会では、児童からの「大阪府北部地震」への募金についての提案を受け全校児童に呼びかけ、先週、登校時に募金活動を行いました。この募金活動で配布した「助けよう大阪募金」のプリントをご覧になられた大阪在住の本校児童のおばあ様からお便りをいただきました。『…近所の人達と読んで「ありがたいね」と。優しい心に嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。募金を呼びかけて下さいました中島根小学校代表委員会の皆様ありがとうございます。そして、募金に協力頂きました多くの方々、心からお礼申し上げます。皆さん達のエールを力に元気なれそうです。…』自分たちのできることをしようという思いが伝わったこと、全校児童の心を一つに集結できたこと、多くの感動が広がりました。保護者会の折にご協力いただいた方々の思いも含めた33397円は、足立区役所を通して「大阪府北部地震災害義援金」と「7月豪雨災害義援金」にわけて募金いたします。ご協力ありがとうございました。

17日、地域にお住まいの方がご来校され、先週土曜日に交通事故が発生した現場でいち早く交番に知らせた児童がいたことをお知らせ下さいました。本人は当たり前のように思っているかもしれませんが、良い行いをしたら大人の方も認めて下さることにもありがたいと思います。夏休み中の盆踊りへの参加も地域の皆様とつながるよい機会で大切にしたいものです。

冒頭の論語は孔子の弟子「子夏」の言葉です。「うらやましく思うような人を好むかわりに賢人を尊敬し、父母には力を尽くして仕え、世話になっている人には自分の身をささげて仕え、友には約束を守る気持ちをもって仲よくする。そういう人物であれば、本人が学問は未熟だ、と言ってもしっかりと学問をしている人だと評価できる。」という内容です。つまり、目先の興味があることだけにとらわれることなく、父母を大切に、自分のできる努力を惜しまず、友達と心を通いあわせることができる人こそが、本当に学んだ人と言える、ということです。

4月6日より74日間、運動会、毎月の土曜授業、学校公開、日曜授業参観と多くの保護者の皆様、地域の皆様のご来校、子ども達への励まし、ありがとうございました。また、図書ボランティア活動、読み聞かせボランティア活動や「緑を育む会」をはじめ、様々なご支援をいただき「オール中島根」としての協力体制をさらに強固にして下さったことに感謝申し上げます。

明日からの44日間、お子さんにとっての一日一日をどう過ごすか、よく話し合っていたきたいと思います。7月28日には家族揃って最小の満月「ミニムーン」を観察してみてください。明け方には、皆既月食もみられるようです。夏休みならではの体験もしてほしいと思っています。自身の目標に向かって自ら考え努力してやり遂げる体験を期待しています。

夏休み 絵・作文・自由研究コンクールに応募しよう

① 地球にやさしいひとのまちポスターコンクール	
内容	温暖化対策部門 ～未来を守るために行動しよう～ 美化部門 ～きれいなまちをつくるために、ごみは持ち帰ろう～
用紙	四つ切の画用紙。(542mm×382mm をタテに使用) 水彩絵の具、ポスターカラー、クレヨン、サインペンなど。
備考	作品返却あり。 参加賞あり。

② メトロ児童絵画展	
内容	地下鉄をモチーフに安全やマナーなどをテーマにした絵のほか、夢のある楽しい絵を募集します。
用紙	用紙サイズ：B4または八つ切り。(タテ・ヨコ自由)
画材	水彩絵の具、ポスターカラー、クレヨン、サインペンなど。
備考	作品返却なし。 参加賞あり。

③ 手紙作文コンクール	
内容	「はがき作文部門」…特定の相手に自分の体験したことや考えなどを、主に文章で表現する。(絵を描きいれてもよい) 「絵手紙部門」…絵と文字で表現された手書きの絵手紙を作る。
用紙	はがきを使用する。
備考	1年生から6年生。夏休み明けを作品の裏に「応募票」を書いて貼る。

④ 調べる学習コンクール	
内容	テーマを決めて自由研究を行う。テーマを決める時に参考にすると研究内容を伝えるためにまとめる時に参考にすることを印刷した別紙(A3両面)を配布したので、挑戦してみる。
用紙	自由
備考	1年生から6年生。家の方と一緒に取り組んでもよい。夏休み明けに提出する。希望があれば、他の資料もあるので、問い合わせをすることができる。

※ここに紹介した以外にも応募できます。職員室廊下掲示板をご覧ください。

着衣水泳の学習

6年学年主任 八百 秀明

中島根小学校では、毎年、6年生が代表して、水難事故を防ぐために着衣水泳の実施を行っています。一昨年度より足立消防署綾瀬出張所の消防士の水難救助隊の方々に来校していただき直接ご指導いただいています。今年度は7月3日(火)に実施しました。

はじめに、消防隊員による海や川に潜む危険についての話を聞きました。ペットボトルなど身近にある物を使った救助法の紹介、また、水を含んだ服の重さを感じるために水着の上から服を着たり、靴を履いたりして「着衣水泳」を体験しました。服を着ていると泳げない、動きづらいことということを体験して、「浮くこと」「慌てず助けを待つこと」、ペットボトルを使う、脱いだ服の中に空気を入れて浮く助けにするなど、楽に浮く多くの方法を教わりました。消防士さんたちの話を真剣に聞き、実際に体験できたことは児童たちにとって、とても有意義な時間となりました。



夏休み中、水の事故にあわないよう、また、万が一のときには、今回学んだことを生かし、自分の命を自分で守って、楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。

海の日コンサート

コーラス部担当 わくわくルーム 五十嵐 千晴

コーラス部は、7月16日(月)にギャラクシティーで行われた海の日コンサートに参加してきました。NHK全国学校音楽コンクール東京都コンクール予選にて自由曲として歌う予定の『明日を信じて』とジブリ映画「耳をすませば」の挿入歌でおなじみの『カントリーロード』を歌いました。客席の大勢の観覧の方々の前で、一番始めの出演にもかかわらず、元気よく中島根小の代表として全力を出し切ることができました。

夏休みに入ってから2週間、しっかり練習してNHK全国学校音楽コンクール東京都コンクールの予選大会に臨みます。



夏休みの生活について

生活指導主任 生島 靖裕

子どもたちが心待ちにしている夏休みがもうすぐはじまります。ご家庭では、楽しい行事計画を立てていらっしゃることでしょ。学校では、休み中の生活を次の3点にねらいをおいて指導しています。

- 1 健康・安全を心がけ、体を丈夫にする。
- 2 自分で計画を立てて、最後までやり通す。
- 3 家族とのふれあいを深める。

以上のねらいと、次の「夏休みの生活の過ごし方」をもとに夏休みの生活を安全で有意義に過ごされますように、ご協力をお願いします。

【夏休みの生活の過ごし方】

(1) 健康で、規則正しく生活する。

- 生活のリズムを崩さない。「早寝・早起き・朝ご飯」を確実に
- 夏季水泳指導や地域の行事に進んで参加する。

(2) 交通事故防止・危険防止・非行防止につとめる。

- 公園で遊ぶ時はその公園のルールを守って遊ぶ。
- 子どもだけでは原則学区域内（島根住区センター、平野住区センターを除く）で過ごす。
学区域外やお金のかかる施設に行く時は、責任もてる大人と一緒に行く。

(3) 連れ去りや痴漢等に気をつける。

- 一人遊びや暗くなってからの外出（暗くなるほど危険が増す）はひかえる。
- 夕焼けチャイムを帰りの合図にする。

(4) 計画を立てて最後までやり通す。

- 夏季水泳指導・読書・学習・自然観察などのめあてを決めて、最後までやり通す努力をする。
- 家族の一員として、家の仕事を分担し、実行する。

(5) 夏休みの楽しい思い出をつくる。

- 家族の団らんや温かいふれあいを大切にする。
- 子ども会・地域の行事や催しに進んで参加し、協力したり楽しんだりして自ら学ぶ機会をもてるようにする。

※不審者等の被害にあった場合は、すぐに110してください。

西新井警察署 (3852) 0110

竹の塚警察署 (3850) 0110

綾瀬警察署 (3620) 0110

中島根小学校 (3850) 4071